

北見市における景気動向調査報告書

< 第 IV 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成23年4月14日

(2) 調査対象期間 平成23年1月～3月期実績および平成23年4月～6月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

| 業種 \ 企業数 | 対象企業数 | 回答企業数 | 回答率 |
|----------|-------|-------|-------|
| 製造業 | 30社 | 22社 | 73.3% |
| 建設業 | 30社 | 22社 | 73.3% |
| 卸売業 | 30社 | 23社 | 76.7% |
| 小売業 | 35社 | 25社 | 71.4% |
| サービス業 | 25社 | 19社 | 76.0% |
| 合計 | 150社 | 111社 | 74.0% |

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

II. 概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成22年度第IV四半期平成23年<1月～3月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」16.2、「悪化企業」51.4、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△35.2となっています。

このD・I値を前年同期と比較してみると、前年同期△22.9→今期△35.2と12.3ポイントの悪化傾向を示しています。また、前期調査<22年度第III四半期>(平成22年10月～12月)との比較でも、前期△23.8→今期△35.2と11.4ポイントの悪化傾向を示しています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△22.7、建設業D・I値△50.1、卸売業D・I値△8.7、小売業D・I値△48.0、サービス業D・I値△47.3となっており、前年同期と比較すると小売業で39.2ポイント、建設業で13.1ポイント、卸売業で12.9ポイント、製造業で4.6ポイントの悪化となりました。サービス業では唯一19.2ポイント改善していますが、マイナス値は高く、依然厳しい状況にあることが伺えます。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」14.4%、「悪化企業」58.6%でD・I値△44.2%と、前年同期見通し(△37.4)に比べ6.8ポイントの悪化傾向を示し、3月11日に発生した東日本大震災の影響による資材不足や観光客の減少、製品不足等、「業界の問題点」でもその影響を挙げる声が多く、厳しい来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生産高

前年比で「増加企業」22.7%、「減少企業」54.6%、D・I値△31.9と前年同期に比べ13.7ポイントの悪化傾向となっており、前期調査との比較でも27.7ポイントの悪化傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」31.8%、「悪化企業」45.5%、D・I値△13.7と前年同期と同ポイントの結果となりました。

来期見通し

業況D・I値△36.4、生産高D・I値△40.9、資金繰りD・I値△36.5と、前年同期に比べ全てのD・I値が悪化を示し、特に生産高、資金繰りでは約20ポイントの大幅な悪化となりました。

2) 建 設 業

完成工事高

前年比で「増加企業」13.6%、「減少企業」63.7%、D・I値△50.1と前年同期に比べ18.2ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。

採算 前年比で「好転企業」9.1%、「悪化企業」54.5%
D・I値△45.4と前年同期に比べ22.6ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。

来期見通し 業況D・I値△40.9、完成工事高D・I値△27.3、
資金繰りD・I値△18.2と、前年同期の来期見通しと比べ
全てのD・I値で改善傾向を示したものの、依然マイナス数値
は高く、予断を許さない来期見通しとなっています。

3) 卸売業

売上高 前年比で「増加企業」30.5%「減少企業」47.8%、
D・I値△17.3と前年同期に比べ17.3ポイントの悪化
傾向を示しています。

採算 前年比で「好転企業」34.8%、「悪化企業」30.4%、
D・I値4.4と前年同期に比べ20.6ポイントの悪化傾向
を示しましたが、「採算」の中では全業種の中で唯一のプラス
値となりました。

来期見通し 業況D・I値△34.7、売上高D・I値△34.8、資金
繰りD・I値4.3と、前年同期に比べ業況、売上高では悪化
となりましたが、資金繰りではマイナスからプラスに転じる結
果となりました。

4) 小売業

売上高 前年比で「増加企業」8.0%「減少企業」52.0%、
D・I値△44.0と前年同期と比べて31.0ポイントの大幅な
悪化傾向を示しています。

採算 前年比で「好転企業」16.0%「悪化企業」56.0%、
D・I値△40.0と前年同期と比べて22.7ポイントの大幅
な悪化となりました。

来期見通し 業況D・I値△56.0、売上高D・I値△60.0、資金
繰りD・I値△48.0と前年同期と比べ、全てのD・I値
で大幅な悪化傾向を示しており、先行きの見えない非常に厳
しい来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高 前年比で「増加企業」10.5%、「減少企業」52.6%、
D・I値△42.1と前年同期と比べ24.6ポイントの好
転傾向を示していますが、マイナス数値は高く依然として大
変厳しい状況となっています。

採 算

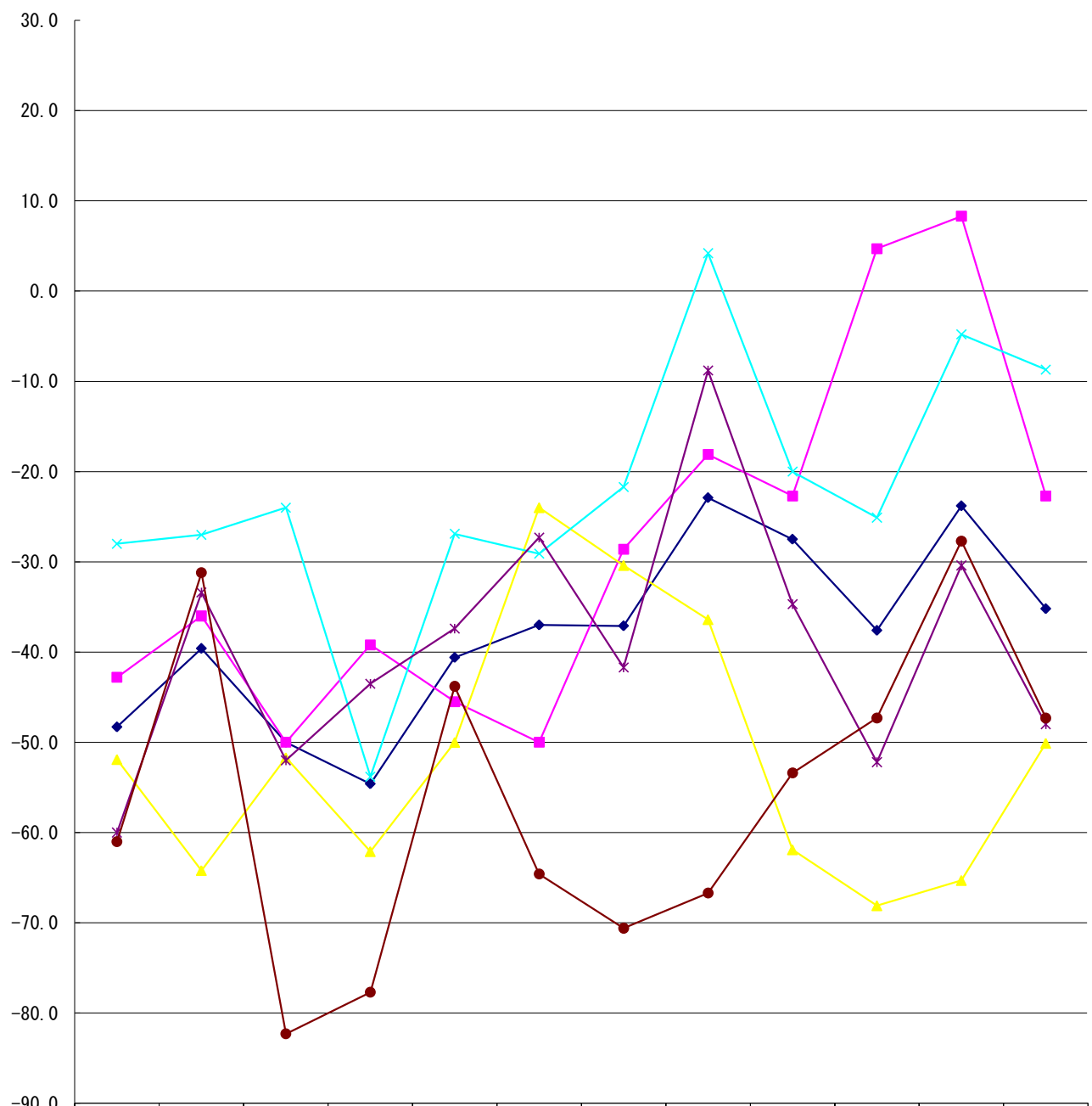
前年比で「好転企業」5.3%、「悪化企業」57.9%、D・I値△52.6と前年同期と比べ19.6ポイントの好転傾向を示しましたが、未だ50ポイントを超えるマイナス値となっています。

来期見通し

業況D・I値△52.6、売上高D・I値△52.6、資金繰りD・I値△57.8と、前年同期と比べ業況はほぼ横ばいで推移していますが、売上高、資金繰りでは悪化傾向を示し、厳しい来期見通しとなっています。

業況（前年同期比）

◆ 全業種
 ■ 製造業
 ▲ 建設業
 × 卸売業
 ✱ 小売業
 ● サービス業



| | 20.4~6 20年度Ⅰ | 20.7~9 20年度Ⅱ | 20.10~12 20年度Ⅲ | 21.1~3 20年度Ⅳ | 21.4~6 21年度Ⅰ | 21.7~9 21年度Ⅱ | 21.10~12 21年度Ⅲ | 22.1~3 21年度Ⅳ | 22.4~6 22年度Ⅰ | 22.7~9 22年度Ⅱ | 22.10~12 22年度Ⅲ | 23.1~3 22年度Ⅳ |
|---------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| ◆ 全業種 | -48.3 | -39.6 | -50.0 | -54.6 | -40.6 | -37.0 | -37.1 | -22.9 | -27.5 | -37.6 | -23.8 | -35.2 |
| ■ 製造業 | -42.8 | -36.0 | -50.0 | -39.2 | -45.5 | -50.0 | -28.6 | -18.1 | -22.7 | 4.7 | 8.3 | -22.7 |
| ▲ 建設業 | -51.9 | -64.2 | -51.7 | -62.1 | -50.0 | -24.0 | -30.4 | -36.4 | -61.9 | -68.1 | -65.3 | -50.1 |
| × | -28.0 | -27.0 | -24.0 | -53.8 | -26.9 | -29.1 | -21.7 | 4.2 | -20.0 | -25.1 | -4.8 | -8.7 |
| ✱ 小売業 | -60.0 | -33.4 | -52.0 | -43.5 | -37.4 | -27.3 | -41.7 | -8.8 | -34.7 | -52.2 | -30.4 | -48.0 |
| ● サービス業 | -61.0 | -31.2 | -82.3 | -77.7 | -43.8 | -64.6 | -70.6 | -66.7 | -53.4 | -47.3 | -27.7 | -47.3 |

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

| | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
|-------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
| 製 造 業 | 得 意 先 減 少 | 諸 経 費 増 | 同業者間の競合 | 人 材 不 足 | 人 件 費 増 |
| 建 設 業 | 同業者間の競合 | 得 意 先 減 少 | 諸 経 費 増 | 人 件 費 増 | 人 材 不 足 |
| 卸 売 業 | 得 意 先 減 少 | 同業者間の競合 | 諸 経 費 増 | 人 材 不 足 | 人 件 費 増 |
| 小 売 業 | 同業者間の競合 | 得 意 先 減 少 | 諸 経 費 増 | 人 材 不 足 | 売掛金回収難 |
| サービス業 | 得 意 先 減 少 | 同業者間の競合 | 諸 経 費 増 | 人 件 費 増 | 人 材 不 足 |
| 合 計 | 得 意 先 減 少 | 同業者間の競合 | 諸 経 費 増 | 人 件 費 増 | 人 材 不 足 |

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

合計で「得意先減少」がトップ、「同業者間の競合」「諸経費増」がそれに続く形となっており、前年同期調査とほぼ同じ結果となったが、「人件費増」が増加し、「売掛金回収難」が減少している。業種別では建設業、小売業で「同業者間の競合」が1位になっているが、その他の業種では「得意先減少」の回答が最も多かった。

※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

- (製造) ○発注量の減少、道内大手企業の地域参入による価格破壊 (印刷)
- (建設) ○東日本大震災の影響から資材等の仕入が困難 (電気工事)
- 需要の減少 (管土木)
- 資材の高騰 (板金)
- (卸売) ○東日本大震災による物流の停滞、資材不足により先行きが見えない (板金)
- メーカーの主力工場が被災し、入荷が激減 (鋼材)
- 恒常的に値引販売が横行し、収益を圧迫している (米穀)
- 大手業者との競合で売上利益率が減少、
景気低迷で新規事業予算の先延ばし、縮小が見られる (医療・介護福祉機器)
- 競争による利益率の低下、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できない (肥料)
- 販売資材の調達難による売上の低下 (金物)
- (小売) ○製品が届かず売上にならない (自動車)
- 東日本大震災により客足減少 (スポーツ用品)
- (サービス) ○東日本大震災の影響で人もモノも動かない (ホテル (宿泊))
- 東日本大震災により予約のキャンセルが多発。主に道外客が激減 (自動車賃貸)

業 況

重複該当業種を特記すると、悪化で製造業の「木製品」で2社、建設業の「土木・とび土工」で2社、「管土木」で3社、サービス業の「ホテル（宿泊）」で2社、「飲食」で2社の該当見られた。

- 製造業 ⇒ 好転（松製材、農業機械金属製品、一般機械、建設用金属製品）
悪化（木製品、印刷）
- 建設業 ⇒ 好転（電気工事）
悪化（土木・とび土工、管土木、塗装、板金）
- 卸売業 ⇒ 好転（米穀、製菓原材料機器、三月五月人形・一般玩具、石油製品）
悪化（塗料）
- 小売業 ⇒ 好転（菓子、家電）
悪化（自動車、書籍、時計・貴金属・宝石、画材）
- サービス業 ⇒ 好転（ホテル（宴会））
悪化（ホテル（宿泊）、飲食、ビルメンテナンス、建物清掃、理容、理美容）

※太字アンダーライン表示は重複該当業種